

Sheffield Peer Review Assessment Tool (SPRAT) シェフィールド同僚評価表

病院名： _____ 卒後年次： 1・2・() 研修医氏名 _____

科別： _____ 日時： _____年____月____日

	1	2	3	4	5	6	U/C
良質な臨床ケア							
1 .患者の問題に診断をつけられる能力							
2 .適切なマネジメントプランを組み立てられる能力							
3 .複雑な問題を抱える患者を扱える							
4 .自分の限界への自覚							
5 .患者の問題の心理社会面に応える能力							
6 .医療資源の適切な使用(検査のオーダーなど)							
7 .治療のリスクと有益性を見積もることができる							
8 .患者ケアをコーディネートできる							
良質な医療を継続する能力							
9 .時間を効率的に使い優先順序をつけられる能力							
10 .最新のエビデンスに基づいた医療ができる							
11 .技術的スキル(現在の診療に必要なもの)							
12 .自分のストレスマネジメントができる							
13 .学習を継続している							
教育、指導、評価							
14 .他の医療従事者を教育指導するのに熱心であり、効果を上げている							
15 .他の医師にフィードバックができる(個別、公正、支持的)							

患者との関係					
16. 患者とのコミュニケーション					
17. 家族、介護者とのコミュニケーション					
18. 患者を尊重し、守秘義務を守っている					
医療従事者との仕事					
19. 同僚との会話コミュニケーション					
20. 同僚との文章コミュニケーション					
21. 同僚がどういう役割を担っているかを認識している					
22. 親しみやすさ、頼もしさ					
23. リーダーシップ能力					
24. 管理運営能力					
総合評価					
25. 総合的に、到達度をどう見るか					

評価段階で望まれる能力のある段階を4として、ボーダーラインが3、能力が明らかにそれ以下のとき2, 1、それ以上あるとき5, 6をつける

U/Cは観察していなくて、コメントできない時につける(Unable to comment)

この研修医で特に優れている点：

この研修医で心配な点：

評価者所属： _____ 氏名 _____

SPRAT 評価者への説明文

【説明】

SPRAT は、研修医の総合評価のための簡単な評価表として、欧米の卒後医学教育で使用されています。簡略化した mini-PAT が初期研修評価に使われ、SPRAT が専門研修評価で使われています。

【使用する場合】

以下の場合に、SPRAT を使って評価します。

後期研修医で、半年ごと、または各科ローテーション終了時で、総合評価のための該当科研修委員会の前。評価者は、研修医自身、該当科研修指導責任者、病棟看護師長、(外来研修をしていれば) 外来看護責任者。また、指導責任者以外の指導医 1 ~ 2 名 (医師体制による)、病棟看護師長以外の看護師 1 ~ 2 名、その他の職種 1 名以上を評価者として後期研修医が自由に選びます。

研修医が希望した場合。

【評価の基準】

1. 診断：common なもの、および見落としとしてはならない重大なものを考慮して鑑別診断が立てられる。鑑別診断を確定・除外するためにどういう情報収集が必要か理解している。
2. マネジメントプラン：妥当な診断、治療、教育プランが立てられる。診断がはっきりつかないあいまいな問題でも妥当なプランが出せる。
3. 複雑な問題：一人の患者に複数の疾患・病態が重なっているときに、それぞれに対し、見落としなく必要な対処ができる。
4. 自分の限界への自覚：自分の知識にないことは調べたり人に聞いたりしている。一人で対処できないことは他人に援助を求めている。一人で抱え込まない。
5. 心理社会面：患者の心理社会面の状況を把握している。他職種と協力しながら、心理社会面へ必要な援助をしている。
6. 医療資源の適切な使用：検査や治療を不足せず、過剰すぎないように、的確なタイミングで実施している。
7. 治療のリスクと有益性：治療のリスクを踏まえている。治療の有益性がリスクを上回るかどうかを判断している。
8. 患者ケアのコーディネイト：必要に応じて、他職種・他科医に相談したり、他院への転送を調整することができる。
9. 時間の効率的利用：特別な事情がない限り、オーダーを時間内に出している。業務を時間内に終わらせている。突発事があったときに適切な優先順序をつけて対応できる。
10. 最新のエビデンス：自分が担当した患者に関係する最新のエビデンスを学習している。

最新のエビデンスを見つけるスキルがある。エビデンスと患者の状況と提供できる医療資源を踏まえ、最善の方針を立てるようにしている。

11. 技術的スキル：必要な手技を、安全かつ正確に実施できる。
12. 自分のストレスマネジメント：適切に休暇をとっている。自分のストレス状態を自覚している。心身の問題が生じたとき、他人に相談している。
13. 学習の継続：学習会・学会・セミナー類に積極的に参加している。
14. 教育指導：日々の病棟業務、研修医学習会、院内学習会などで、他の研修医、スタッフ医、他職種に対し、教育熱心である。他人を教育することで自ら学んでいる。相手のニーズと理解力に応じて、わかりやすく教えている。
15. フィードバック：他の研修医、他職種に対し、評価を伝えることができる。特にそれがネガティブな評価の場合、相手を傷つけないよう配慮し、他の人の前でなく個人的に伝え、公平公正であり、相手の成長を促す視点であること。
16. 患者とのコミュニケーション：患者の思いを傾聴している。患者が求める情報を、わかりやすく、十分な回数提供している。患者と信頼関係を作っている。
17. 家族とのコミュニケーション：家族の心配や希望を把握している。家族が求める情報を、わかりやすく、十分な回数提供している。家族と信頼関係を作っている。
18. 患者の尊重：患者の意志、希望、人生経験、背景を尊重している。患者との会話を守秘義務に配慮して行っている。
19. 同僚との会話コミュニケーション：報告・連絡・相談を適切に行っている。場や相手の状況に応じた簡潔で適切なプレゼンができる。相手の立場を配慮した発言をしている。
20. 同僚との文章コミュニケーション：紹介状、報告書、学習会資料などの文書類を、読み手にとって必要な情報という観点からわかりやすい言葉と中身で、プロとして節度ある言葉を使い、速やかに書いている。
21. 同僚の役割：他スタッフの役割、業務内容、勤務形態を理解している。他スタッフが動きやすいように配慮している。
22. 親しみやすさ：話しかけやすい、近づきにくい。信頼感がある。
23. リーダーシップ：カンファレンス、院内委員会、各種企画で、自ら率先して行動し、また他人の自主的行動を促すことができる。
24. 管理運営：院内委員会、各種企画で、行動計画を立て、実行していくことができる。

【評価方法】

指定された評価者は、研修医の総合的能力について、SPRAT を記入してください。特定の患者に限った評価ではなく、仕事全体を評価してください。

SPRAT 用紙は、各科研修委員会までに各科研修責任者または研修担当事務に提出してください。研修医にはコピーを渡します。